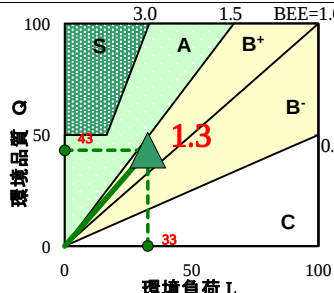
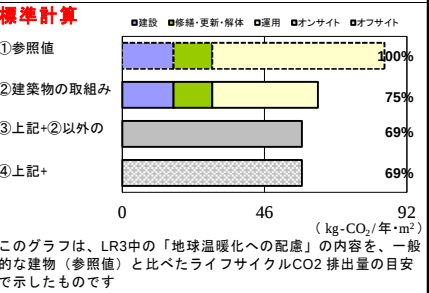
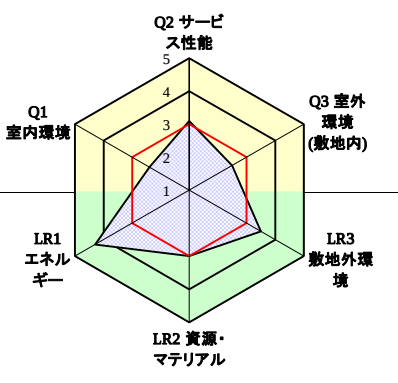


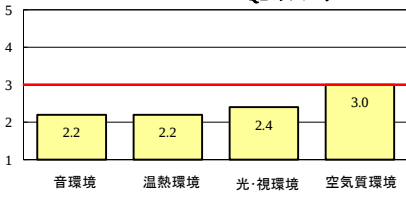
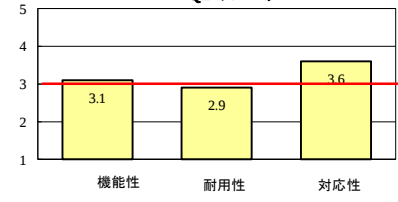
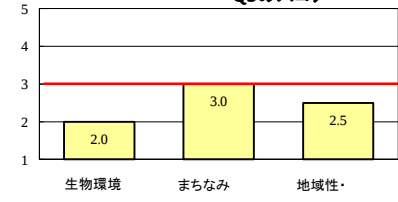
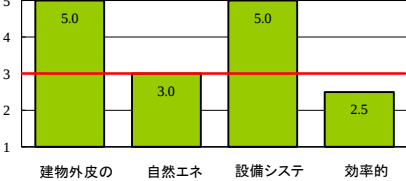
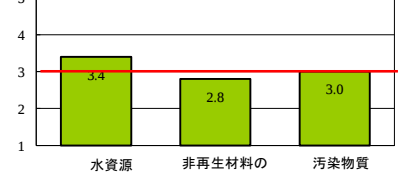
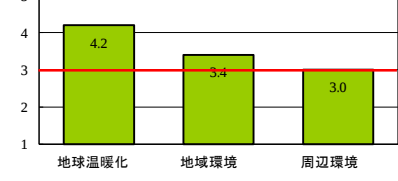
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	山本ビニター 八尾工場リニューアル	階数	地上4階/地下-階		
建設地	大阪府八尾市洪川町	構造	S造		
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	95 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2028年10月 予定	評価の実施日	2025年6月12日		
敷地面積	7,880 m ²	作成者	池田 修也		
建築面積	4,551 m ²	確認日	2025年6月12日		
延床面積	10,391 m ²	確認者	池田 修也		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.3 ★★★★★★☆☆☆☆ S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 2.7		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.4  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5 	LR のスコア = 3.6 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.3  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0  LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5 		

3 設計上の配慮事項	その他	
総合 製品に求められるクリーンな作業環境を整備し、生産ラインの合理化を図る。外壁には、防火、断熱性能に優れたALCを使用し、事務所部分は、カーテンウォールと縦連窓、リブパネルを組み合わせで開放感を出すとともに、落ち着いた色合いでまちなみの調和に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境 屋内仕上げに用いる材料については全てF☆☆☆☆以上の建材を使用し、特定化学物質の発生を最小限に抑える。	Q2 サービス性能 工場用途は、機能性・空間のゆとりを十分に持たせ、床は無機質系塗床とし維持管理に配慮した設計とする。事務用途は木調を基調とした内装とし、温かみのある空間を計画する。	Q3 室外環境(敷地内) 住居が隣接することにも配慮し、十分な距離を確保した建物配置とし、緑地を設けることで周辺への圧迫感を軽減している。
LR1 エネルギー LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用する。	LR3 敷地外環境 出入口は歩車分離することで、周辺道路の渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		山本ビニター 八尾工場リニューアル建替工事					
建設地		大阪府八尾市渋川町					
用途／区分		工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分				評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				評価対象外 	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		